

令和4年度 上片桐保育園・松川北小学校 架け橋期のカリキュラム

年 長 児					
月	I 期 (4～5月)				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・年長になったことを喜び、意欲を持って園生活に取り組む。 ・友だちと好きなあそびを十分楽しむ。 ・自然に触れて興味を持ったり動植物の世話をしたりする。 				
活動例	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動 (バケツの水汲み、野菜の水やり、玉ねぎの皮むき) ○誕生会の司会、プレゼンター ○運動遊び (なわとび) ○こいのぼり制作 (マジック・絵の具) 				
10 の 姿 の 実 践 例	<p>「ころがしドッチボール」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>④道徳性・規範意識の芽生え</p> <p>ルールのあるボール遊びは初めて。まずは、子どもの絵カードをホワイトボードに貼り付けてルールを説明してから1試合チャレンジしてみる。試合後、負けたチームの子どもたちと先生が相談。先生「ボールが来たら？」子どもたち「ジャンプする」「とれるボールは取る」。続いて、先生「投げる時は？」子どもたち「思いっきり投げる」「つよく投げる」。2回戦目に入ると、ボールを持ったらすぐに投げたり、当たったらすぐに外野に出たりする等、ルールを理解して楽しんでいる姿が多く見られた。 (⇨ 小1 1学期 体育「ぼーるあそび」)</p> 				
	<p>「はたけのおせわ」 <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命の尊重 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>(5月初旬) 苗の水やりと子どもたちが作った看板立てのために畑へ。先生「昨日と違うところがあるね。」子ども「棒が立ってる」「ひもが付いてる。」先生「どうして棒が立っているの？」子ども「風で取れちゃうから」「前にとうもろこしが折れたことがあった…」野菜を大事に育てていく気持ちを高めるために、子どもたちと対話しながら進めた。</p> <p>(5月下旬) 野菜の生長を見に再び畑へ。まずは畑づくりを手伝ってくださっている先生にごあいさつ。「畑の先生、いつもお世話ありがとうございます。」その後子どもたちは思い思いに野菜の様子を見て回り、最後にみんなで気づいたことを出し合った。「お花が咲いていたよ。」「ピーマンは白いお花。」「トマトは黄色い花だったよ。」「かぼちゃは葉っぱがすこし大きくなっていたね。」</p> <p>(⇨ 小1 1学期～2学期初め 生活「あさがおをうえよう」)</p>  				
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動するための生活に必要な当番表や手順表の用意をする。 ・気の合う友だちや保育者と好きな遊びを見つけて遊べる遊具や玩具の用意をする。 ・子どもの言葉や思いを拾い上げ、主体的に遊びを展開していけるような対応を行う。 ・春の自然に親しめる活動や遊びの提供。 				
交流	<table border="1"> <tr> <td>園内</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・年少児のお手伝い(お散歩や集会の際、迎えに行く、昼寝後の布団たたみ) ・なかよし組(異年齢組) </td> </tr> <tr> <td>園外</td> <td></td> </tr> </table>	園内	<ul style="list-style-type: none"> ・年少児のお手伝い(お散歩や集会の際、迎えに行く、昼寝後の布団たたみ) ・なかよし組(異年齢組) 	園外	
園内	<ul style="list-style-type: none"> ・年少児のお手伝い(お散歩や集会の際、迎えに行く、昼寝後の布団たたみ) ・なかよし組(異年齢組) 				
園外					
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの特徴や性格、家庭状況等を把握する。 ・園での意欲的な姿を知らせたり家庭での様子を聞いたりして一人ひとりの保護者との信頼関係を築く。 ・畑の先生から教わる栽培活動を園児や家庭に広める。 				

年 長 児

年 長 児					
月	Ⅱ期（6～8月）				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨期や夏の生活の仕方がわかり、健康に過ごす。 ・友だちと互いに思いを出し合いながら、遊びをすすめる。 ・目的をもって試したり、自分の力を発揮したりしながら、夏ならではの遊びを存分に楽しむ。 				
活動例	<ul style="list-style-type: none"> ○笹、七夕飾り制作（段ボール、折り紙、染め紙）、たなばた会 ○畑の先生との野菜作り、じゃがいもの収穫 ○どろんこ ○プールあそび 				
10 の 姿 の 実 践 例	<p>「きれいなたんざくをつくろう(染め紙)」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>「なぜ、たなばたにささかざりをするの？」の紙芝居を読んだ後、中からお手紙が出てきた。「みんなのお願いごともし叶えられるように、空から見えるお願いごとを飾ってください。」織姫・彦星様からの手紙だった。染め紙で短冊を作ることになり、先生が7色の絵の具を溶いたカップを用意した。紙をカード位の大きさに折り、自分の好きな3色を選び、折った紙の角に絵の具を付けた。紙を広げると、様々な模様ができていて、子どもたちは「うわ～、きれい。」「みてみて。」と、とても嬉しそうに見せ合っていた。（⇨ 小1 1学期～2学期初め 図工「いろあそび」）</p> 				
	<p>「大事な話」 <input checked="" type="checkbox"/>④道徳性・規範意識の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>先生「おうちの人からお話がありました。みんなは言われて嬉しい言葉はなんですか。」子ども「おめでとう。」「かっこいいね。」「難しいことをがんばったね。」先生「では、言われて悲しい言葉はなんですか。」子ども「バカ」「だいきらい。」「かっこわるい。」先生「言われてどんな気持ちだった？」子ども「悲しい。」先生がホワイトボードに「おでぶちゃん」と書いた。先生「体のことを言われたら、どう？」子ども「悲しい。」「自分が言われて悲しいことは、言わない。ゆり組の約束です。ゆびきりげんまん うそついたら はりせんぼん の一ます ゆびきった。」全員で声を出して約束した。（⇨ 小1 2学期 道徳「なかよし月間のこと」）</p> 				
	<p>「プールの絵(制作)」 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p> <p>前時はプールあそびをする自分を作った。先生「プールの形をみんなで相談して作ります。」子どもたちは模造紙大の紙をそれぞれ持ってきて並べ始めた。子ども「プール、でっかいからプールの大きさで作ろうよ。」「パズルみたいにくっつけよ。」並べるうちに、ある子が「隙間ができています。」と気づく。先生「これだと水漏れしちゃうね。」他の子が隙間を埋めるために、紙を上から重ねて置き始めた。それを見ていた子も紙を重ね、隙間を埋めた。自分たちで作ったプールができた。</p> 				
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で、友だちと考えを出し合う場を作る。 ・自分たちで遊びをすすめる楽しさを感じられるように、子どもの姿を予測して必要な環境を準備する。 ・楽しく安全なプール遊びができるように話し合いの場を持ち、ルールを守る大切さに気づけるようにする。 				
交流	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">園内</td> <td>・なかよし組（異年齢組）の応援旗作り、なかよし競技</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">園外</td> <td>・6年生との交流会</td> </tr> </table>	園内	・なかよし組（異年齢組）の応援旗作り、なかよし競技	園外	・6年生との交流会
園内	・なかよし組（異年齢組）の応援旗作り、なかよし競技				
園外	・6年生との交流会				
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際に、家庭や園での姿を共有し合う。 ・畑の先生に野菜の生長に関わる心配事や疑問の解決策を教えてもらい、野菜の生長を見守る。また、一緒に収穫することの喜びを味わう。 ・ドキュメンテーションで保護者や地域へ園の様子を伝える。（上片桐地区5施設：改善センター、松川北小、松川高校、子育て支援センターおひさま、コアみらい〈デイサービス〉） 				

年 長 児

年 長 児					
月	Ⅲ期 (9～12月)				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に向かって自分の力を発揮したり、協力し合ったりして達成する楽しさを味わう。 ・友だちと考えを出し合い、思い描いたものを作り上げていく楽しさや満足感を味わう。 ・身近な自然に興味・関心をもち、遊びに取り入れて楽しむ。 				
活動	<ul style="list-style-type: none"> ○お散歩 ○制作「むらやま公園の遊具を作ろう」 ○自然物を使った制作（落葉の擦り出し） ○集団遊び（鬼ごっこ） 				
10 の 姿 の 実 践 例	<p>「運動会ごっこ」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>②自立心 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑤社会生活との関わり</p> <p>プールの時期に制作していた水中の生き物イルカのにじちゃんがクラス種目に登場する。にじちゃんへ手紙を送り、返事をもらう。にじちゃんからやる気が出る手作りのリストバンドももらい、運動会ごっこに向かう頑張りや楽しみになった。また、応援合戦や体操のリーダー、紅白旗を持つ大将等、1人ひとりに役割がある。年少、年中とのなかよし組の競技では3人で力を合わせて果物を運ぶ。年長さんが年少さんのペースに合わせる姿が見られた。(⇨ 小1 2学期体育「ダンス」)</p> 				
	<p>「さつまいもほり」 <input checked="" type="checkbox"/>①健康な心と体 <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命の尊重</p> <p>畑に行く前、先生が「春に植えたおいもがいくつ付いているか、どんな形か、よく見ておこう」と園児に伝えた。畑の先生が葉やマルチを切って掘りやすいように準備してくださった。1人1つずつつるを引っ張る。力を入れて持ち上げると、立派なさつまいもが4個ほど付いていた。最後に先生が土の中に残っているいもがないかシャベルで掘り起こす。先生と一緒に最後までいもを探して掘っていた。(⇨ 小1 2学期 生活「さつまいもほり」)</p> 				
	<p>制作「さつまいもをつくろう」 <input checked="" type="checkbox"/>⑥思考力の芽生え <input checked="" type="checkbox"/>⑦自然との関わり・生命の尊重 <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い <input checked="" type="checkbox"/>⑩豊かな感性と表現</p> <p>先生がおいもの大きさ、形、数を聞く。子ども「丸かった」「でかい」「細い」「4こ」「5こ」先生「おいもは土の中でどうやってくっついてたのかな？」子ども「根っこだよ。」新聞紙を小さく握ってさつまいもを作る。先生が根っここの部分を作ったY児のさつまいもを紹介する。K児「どうやって作ったか教えて」とY児に聞くと「丸めた端をキュッ、キュッ握ったよ。」近くで見ていたA児は、同じように端を握って根っこを作っていた。</p> 				
	<p>「ごっこあそび」 <input checked="" type="checkbox"/>③協同性 <input checked="" type="checkbox"/>⑤社会生活との関わり <input checked="" type="checkbox"/>⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 <input checked="" type="checkbox"/>⑨言葉による伝え合い</p> <p>ごっこ遊びの1つ、お化け屋敷を作る。先生と子ども達で設計図を作る。子ども「分かれ道を作りたい。入口と出口は同じ所。」先生「宝箱はどこに置く?」「K君はここだって。」子ども「うん、いいよ。」みんなで考えを出し先生がまとめて設計図が完成した。ごっこ遊びでは、お化け屋敷、水族館、お店屋さん等、計6か所作った。店員役とお客役の2グループに分かれて、前半後半で交代する。水族館に来た未満児のお客さんに「ここでお金を払ってね。」「サメにあげるエサだよ。エサは上の方で持ってやるといいよ。」とコツを分かりやすく説明していた。ハンバーガー屋さんで「ハッピーセット1つお願い。」とお客に頼まれたA児。「はい。急いで作らなくちゃ。」B児「お客様、よんじゅうごじゅうえんです。」と店員になりきって遊ぶ。(⇨ 小1 3学期算数・国語「おみせやさんごっこをしよう(おかね・ものの名前)」)</p> 				
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びが十分できるように場所や遊具を整え、安全な使い方を確認する。 ・1人ひとりの子どもが互いに自分の考えを出し合いながら遊びを進めていけるように、仲立ちをしたり見守ったりする。 ・いろいろな素材や用具を豊富に用意し、適切に使えるように使い方を確認したり援助したりする。 				
交流	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">園内</td> <td>・なかよし組（異年齢組）競技、クリスマスリース制作</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">園外</td> <td>・進学する小学校での旗拾い ・6年生との交流会②</td> </tr> </table>	園内	・なかよし組（異年齢組）競技、クリスマスリース制作	園外	・進学する小学校での旗拾い ・6年生との交流会②
園内	・なかよし組（異年齢組）競技、クリスマスリース制作				
園外	・進学する小学校での旗拾い ・6年生との交流会②				
家庭地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の際に、家庭や園での姿を共有し合う。 ・運動会に飾る万国旗を家庭で親子制作することを依頼する。 ・畑の先生とさつまいもを収穫する。畑の先生の調理風景を見学し、調理したものを味わう。 ・個人懇談会で園と家庭での様子を共有し、子どもの成長の姿を確かめ合う。 				

